

文京区に新しい息吹を！

“住民党”の先頭に立って推進していききたい！

公明党文京総支部の若井のりかず千石支部副支部長は1月28日、区内で党員の代表と「政策勉強会」を開催。今後の政治活動を進める基本骨格となる“4つの街づくり”構想（別掲）を発表し、文京に新しい息吹を吹き込む、“住民党”の先頭に立って推進していききたい、と抱負を語った。



その中で、同副支部長は、これまで進めてきた区民相談で改善を求める要望が多かった相談事例と生活者の一人として自身の目線から見た実感とをすりあわせながら、基本構想を練り上げてきた経過を語り、「政治への根強い不信は、単なる“その場限りの口先だけの約束”に、

その原因があり、実現させていく“行動力”が伴わなければ、不信の根ははらえない」と、実現へ向けた強い決意を述べた。

「政策勉強会」を開催！

具体的には、「健康な街づくり」「育児不安解消の街づくり」「歩いて暮らせる街づくり」「安心の街づくり」を発表。中学時代から始めたバレーボール。現在も、ママさんバレーのコーチを務める中で、区内のスポーツ施設の整備は十分とは言えず、区民参加のレクリエーション行事もさらに充実させていく必要性を痛感している、と説明。スポーツ愛好者の一人として、お年寄りから子どもまで幅広い区民が、健康で生き生きとした暮らしを満喫できる生活環境を整えていききたい、と語った。

そして、5歳、3歳の子どもの父親であり、“子育て現役世代”の一人として、また、マンション生活者の一人として、日々、実感する問題点を上げながら、子育てを母親だけにまかせるのではなく、子どもが大好きな“育児参加型お父さん”の輪を広げる一方、地域の子育て支援力の拡充や、多様なマンションライフをサポートする支援事業に積極的に取り組んでいききたい、と抱負を述べた。

さらに、区民相談で数多く寄せられた要望の中から、通行の障害になっている電柱の移設、電線の地中化、歩道の段差解消、駅周辺の駐輪対策などには早急な取り組みが必要、という認識を示し、「これから、文京に住み続けられる“文京に住んで良かった”と元氣が出るような、“区民党”“住民党”の代表として挑戦したい」と、力強く語った。

お気軽にご相談下さい！



若井のりかず

総支部副青年部長/連絡先: 3815-1577

印刷責任者 若井のりかず 文京区白山2丁目11番14号 セントラル小石川403